

中心市街地の活性化について

《遠野駅舎の活用に向けた計画について》

1 経緯

これまで遠野駅周辺は、遠野駅舎をまちの歴史文化と賑わいのシンボルとして整備を進めてきた。

JRは当初、現駅舎を縮小建替の計画をしていたが、市及び遠野駅舎の未来を考える会の申し入れにより、これまでと同様にまちのシンボルとなるようJRと市との合築に向けた協議を行うこととなった。

平成27年1月23日	金	遠野駅舎の未来を考える会臨時開催
平成27年2月9日	月	遠野駅舎の未来を考える会立ち上げ会議
平成27年2月23日	月	JR盛岡支社へ趣意書を提出
平成28年10月13日 ～ 12月8日		遠野駅舎の未来を考えるワークショップを5回開催
平成29年5月23日	火	遠野駅舎の未来を考える会代表者会議
平成29年6月5日	月	JR東日本盛岡支社へ申入れ
平成29年7月11日	火	遠野駅舎の未来を考える会平成29年度第1回会議
平成30年6月1日	金	遠野駅舎の未来を考える会平成30年度第1回会議
平成30年7月9日	月	JR東日本仙台工事事務所と基本計画調査に係る協定を締結

2 遠野駅舎の整備方針について

- (1) 規模は、現駅舎と同規模となるようJRと市との合築で新築する。
- (2) 外観は、まちのシンボルとなるよう進める。
- (3) 市の都市施設・集客施設については、今後協議しながら決める。

3 今後の予定について

JR東日本仙台工事事務所と協議し、遠野駅舎の未来を考える会に報告しながら合築する都市施設・集客施設を決定していく。

